

首相指導力不満76%

全国世論調査 震災対応で低評価

早期退陣論拡大

共同通信社が二十九、三十両日に実施した全国電話世論調査によると、東日本大震災や福島第一原発事故での菅直人首相のリーダーシップに関し「發揮していない」とする回答が76・0%に上り、

三月下旬の前回調査の63・7%から12・3%増えた。
――詳報①関連②面
原発事故への政府対応を「評価していない」とする回答は前回から12・4%増の70・6%に上昇。被災地支

援への取り組みも「評価していない」が前回比13・1%増の52・3%と半数を超えた。これらが首相の指導力への不満につながっているとみられる。
菅首相の交代時期について「直ちに退陣す

べきだ」が23・6%となり、前回の13・8%から退陣論が拡大。菅内閣の支持率は26・8%と前回から1・5%下落し、不支持率は3・1%増の58・7%だった。
首相のリーダーシップ

は「あまり發揮していない」との回答が45・7%、「全く發揮していない」が30・3%。逆に「ある程度發揮」は21・0%、「大いに發揮」は1・3%にとどまった。
原発事故対応は「あまり評価していない」が43・6%、「全く評価していない」が27・0%。
被災地支援では「あまり評価していない」39・9%、「全く評価していない」12・4%だった。

プは「あまり發揮して